

町民のみなさん、こんにちは。平素より町政や町議会に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は、このたび議員の方々のご推挙により、第50代議長に就任いたしました。浅学非才の未熟者ですが、円滑な議会運営と笠松町の発展のために身を粉にして働かせていただく覚悟であります。

さて、笠松町を取り巻く情勢は、年々、厳しさを増しています。少子高齢化に伴う人口減少への危惧、景気回復の遅れから税収も伸び悩むなど、先行き不透明な時代を迎えつつあります。一方で、地震や風水害に備えた防災態勢の強化、次世代に向けた学校教育環境の整備や子育て支援の拡充、不安を抱えることなく老後を暮らすための医療・福祉施策の向上など、「安全・安心のまちづくり」への取り組みは最優先事項です。このほか、次期ごみ処理施設の一日も早い建設・稼働、新たな産業育成やにぎわい創出、老朽化した公共施設の建て替えなどの問題も避けては通れません。

「やるべきこと、やりたいことはたくさんあるが、先立つものが足りない」。今の笠松町は、大きなジレンマに直面しています。しかし、私は決して悲観的な未来予想図を描いてはしません。なぜなら笠松の



地には、素晴らしい資産が眠っているからです。それは長い歴史と先人たちから受け継いだ文化であり、道徳心と思いやりにあふれた笠松人、気質です。これらの資産をもう一度、掘り起こし、新たな視点で活用すれば、必ず「住んでよかった、住んでみたい町」が実現できるでしょう。

私ども議員も「忘己利他」の精神を胸に刻みながら、笠松町の未来のために全力を尽くしていくつもりです。町議会へのより一層の叱咤激励をお願いするとともに、町民のみなさんのご健勝、ご多幸を心より祈念します。

正副議長が決まりました

4月3日の臨時会で、議長・副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任、民生建設常任委員会委員長の交代が行われました。(敬称略)

議長 古田 聖人
副議長 川島 功士
【議会運営委員会】 委員 岡田 文雄
【民生建設常任委員会】 委員長 岡田 文雄



臨時会開会中の議場

日本画家 伊藤 嘉晃氏からの寄贈絵画除幕式



広江町長から感謝状を贈呈

3月21日、日本美術院特待 伊藤 嘉晃氏(岐阜市)から笠松町に寄贈された絵画「神代桜」の除幕式が中央公民館で行われました。

神代桜は、山梨県北杜市の実相寺境内にあるエドヒガンザクラの老木で、「三春滝桜(福島県)」、「淡墨桜(岐阜県)」と並び、日本三大巨桜の一つです。

3階大ホール前の壁面に展示してありますので、ご来館の際はぜひご鑑賞ください。